

平成 30 年 4 月 25 日

各位

さいたま市北柔道連盟
会長 佐藤 正和
(公印省略)

講道館昇段候補者推薦について (依頼)

標記の件につきまして、八段・七段候補者について各団体より昇段候補者の推薦をお願い致します。

記

1. 昇段審議会日程

(1) 八段昇段候補者審議

平成 30 年 6 月 24 日 (日) 埼玉県柔道連盟
平成 30 年 7 月 24 日 (日) 関東柔道連合会審議
平成 30 年 10 月 14 日 (日) 関東柔道連合会審議
平成 30 年 10 月 28 日 (日) 講道館「形」研修・試験

(2) 七段昇段候補者審議

平成 30 年 7 月 29 日 (日) 埼玉県柔道連盟
平成 30 年 10 月 14 日 (日) 関東柔道連合会審議
平成 30 年 11 月 10 日 (土) 関東柔道連合会「形」審査

2. その他

(1) 推薦書はホームページよりダウンロードしてください。ダウンロード出来ない方は郵送いたしますので、事務局までご連絡下さい。

3. 推薦書提出期限

(1) 5/19 昇級審査会時に提出か事務局まで郵送又はメールで提出してください。

以上

六段以上候補者推薦書類作成上のお願い

- 鉛筆書き、鉛筆書きをコピーしたもの、FAXでやりとしたものは禁止です。
- PCで作成したものでよいですが、PCで出せない字は一般的な字で代用せず、必ず正しい字を手書きしてください。
- 「年」に関しては、すべて西暦で記入してください。
- 「高」と「髙」、「崎」と「崎」、「吉」と「吉」、「辺」「邊」「邊」、「齊」「齋」「齊」「齋」などの異体字、旧体字が使われることが多い名前は、必ず本人に確認してから書類を作成してください。
- 現段位昇段時から名前が変わっていないか、訂正すべきところはないかを確認し、変更が必要な場合には住民票、運転免許証、健康保険証などの写しを添付してください。本籍や現住所の変更の場合には証明等の提出は必要ありません。
- 試合成績の欄は、大会種別でまとめないで、時系列(古いものから新しいものへ)で記入してください。
- 「功績」による推薦の場合には、「推薦理由」の欄に赤字で「功績」と記入してください。PCで作成した場合で赤字が出せないときは、赤下線を引いていただければ結構です。
- 推薦書の記入欄に書ききれない場合は、A4版別紙(白紙)に記入して添付してください。推薦書への紙貼りはしないでください。添付した別紙にも、候補者氏名を記入してください。
- 「年齢」及び「修行年限」は、昇段予定日(次回六段は平成28年1月10日)当日現在の年月齢、年月数を記入してください。ただし、五段昇段が鏡開き昇段(1月8日から15日)であった場合の修行年限は、若干の日数不足は切り上げて、1年と計算してください。
- 職業は以下の範疇からご記入ください。
会社員・会社役員・会社社長・団体役員・団体職員・教員・大学教授・大学准教授・講師・大学助手・高校校長・中学校長・小学校長・幼稚園長・学校職員・柔道講師・道場主・市長・村長・国会議員・県会議員・市会議員・村会議員・公務員・警察官・警察職員・刑務官・消防官・皇宮護衛官・自衛官・海上保安官・郵便局職員・医師・歯科医・柔道整復師・鍼灸師・整体師・僧侶・神職・農業・漁業水産業・酪農業・自営業・旅館業・飲食業・建設業・製造業・銀行員・エンジニア・調理師・理容師・弁護士・司法書士・行政書士・税理士・建築士・保護司・中卸業・警備員・林業・造園業・執筆業・薬剤師・自由業・店員・無職

(2) 七段・八段候補者の推薦基準(講道館)

	「優」	「良」	「可」
現段位前の試合成績 I	① 全日本選手権 全日本選抜体重別選手権 世界選手権 オリンピック大会 講道館杯全日本体重別大会 国際大会(全柔連選考)に出場した者 ② 府県以上の連盟、職域団体の選手として度々(4～5回以上)出場し相当な成績(3位以内)をおさめている者。 ③ 上記②の大会に度々出場し、かつ全国、地区高段者大会で10点以上を有すること(5段)における府県高段者大会の成績を含むことができる)	① 府県以上の連盟、職域団体の選手として度々(4～5回以上)出場した者 ② 全国、地区高段者大会で6点以上有する者(5段)における府県高段者大会の成績を含むことができる)	① 前段位において、全国・地区高段者大会3点以上有する者(5段)における府県高段者大会の成績を含むことができる)
現段位の成績 II	① 現段位において、府県以上の連盟、職域団体の選手として度々(4～5回以上)出場した者 ② 全国、地区高段者大会で10点以上有する者	① 現段位において、府県以上の連盟、職域団体の選手として出場した者 ② 全国、地区高段者大会で6点以上有する者	① 現段位において、全国・地区、府県高段者大会で3点以上有する者
III	(現段位の成績が不十分の場合は I = 現段位前の成績で補うことができる。この場合 I の評定の1段階下位の評定とする。) 講道館又は地区柔連の形試験において七段は「講道館護身術」・「五の形」、八段は「古式の形」が		
IV	優=優良以上	良=良好以上	可=可以上
審判	① 全柔連公認審判Aライセンス取得者(Aライセンス=顧問審判員) ② 評価が優良以上である者	① Bライセンス取得者(Bライセンス=顧問審判員) ② 評価が良好以上である者	① Cライセンス取得者、かつCライセンス取得者で評価が「可」以上である者 ② 府県大会で評価が「可」以上である者
V	① 全日本選手権 世界選手権 オリンピック選手を育成した者 ② 各種全国大会 国際大会(全柔連選考)において3位以上選手、団体を育成した者 ③ その他、専門に指導し実績をあげた者等	① 各種全国大会 国際大会(全柔連選考)に出場した選手、団体を育成した者 ② 府県以上の大会において、相当な実績をあげた選手、団体を育成した者 ③ その他府県以上の連盟の講師として(形、審判) 指導した者等	① 警察、学校、会社、道場その他において指導した者等

VI 修 現 行 状 の 況	おおむね毎日指導及び稽古している者	週4日以上指導及び稽古している者 ✓	週3日以上指導及び稽古している者
VII 指 導 発 展 に 功 績 尽	総合的に評価し、必ず「優」以上である者		
VIII 特 記 事 項	上記VIIに含まれないその他の事項(柔道精神を実生活に応用している状況等)		
総 合 成 績 の 評 定	I ~ VIの成績がIを含む4項目以上が「優」で、他の2項目以内が「良」である者	4項目以上が「良」以上で、他の2項目以内が「可」である者	6項目とも「可」以上である者

(注) 六段在段年限が12年~14年(「良」の評定)の者についての推薦目安

12年: 推薦基準 I ~ VI全ての項目が「良」以上基準を満たし、Iの項目については①の基準を満たしていること

13年: 推薦基準 I ~ VIの項目について5項目以上が「良」以上で、他の1項目が「可」であること

14年: 推薦基準 I ~ VIの項目について4項目以上が「良」以上で、他の2項目が「可」であること

付則 1

関東柔道連合会において行う六段・七段・八段昇段候補者の審議条件について

関東柔道連合会(以下関東柔連という)は、平成9年9月2日関東柔連理事会及び審議員の合議により、下記の条件のいずれかを満たしていない者は「可」以上の評定をしないことを決定した。

記

1 六段昇段候補者

- (1) 50歳未満の候補者については現段位期間中に関東高段者大会、全国高段者大会又は関東柔連又は(財)全日本柔道連盟(以下全柔連という)が主催する大会(全国規模の大会で、全柔連が後援する大会を含む)に通じて2回以上出場していること。
- (2) 40歳未満の者は必ず内規の定めた柔道の形を実施すること。

2 七段・八段昇段候補者

- (1) 60歳未満の候補者については、現段位期間中に関東高段者大会、全国高段者大会又は全柔連、又は全柔連が主催する大会(全国規模の大会で全柔連が後援する大会を含む)に通じて2回以上出場していること。
- (2) 関東形競技大会、全国形競技大会に出場するか、関東柔連、又は全柔連の主催する大会において、形の演技を行ない好評を博していること。
- (3) 全柔連公認審判員A又はBライセンスを取得し、全柔連、又は関東柔連の主催する大会において数次(概ね2回以上)にわたり審判を務めていること。
- (4) 50歳未満の者は必ず内規の定めた柔道の形を実施すること。

3 その他

- (1) 試合成績は県柔連主催の大会以上のものとする。各県柔連支部の大会は評価の対象としない。
- (2) 六段昇段候補者については、講道館審議内規に基づき試合成績を原則とし、「形」及び「審判」の成績を評価する特別の事情のある者については、その都度審議会において審議決定する。

(記入例)

七 段昇段候補者の功績内容

県	埼玉県	氏名
<p>○ 主な功績</p> <p>○○○○年～○○○○年 ○○郡市柔道連盟副会長理事として数々の柔道大会の企画運営に寄与した。</p> <p>○○○○年～○○○○年 ○○市スポーツ功労賞受賞</p> <p>○○○○年～現在 埼玉県柔道連盟理事になり、○○柔道大会、○○柔道大会の企画運営に現在も寄与している。</p> <p>○○○○年～現在 ○○市体育協会理事柔道普及発展に努めている。</p> <p>○○○○年～現在 埼玉県柔道連盟の評議員として現在まで柔道の普及発展に協力している。</p> <p>○○○○～現在 ○○市のスポーツ少年団後援会理事として、スポーツ各種団体の援助とうに現在も支援協力を努めている。</p> <p>○○○○年 ○○○○より表彰受賞。</p>		

段昇段候補者の功績内容

県	埼玉県	氏名	
<p>○ 主な功績</p>			